

まよいうい 通信

幼児教育課

☎0859-54-5219

130人が熱心に受講

親学セミナーを2か所で開催

大山会場

達成感を感じさせよう

3月5日は保健福祉センター
だいでいで、鳥取大学医学部
脳神経小児科の大野耕策教授が
「子どものこころの発達」とい
う演題で講演。大野教授は、小
児神経学における日本の第一人
者で、大山町の就学指導につい
てもお世話になっている先生で
す。

こころの発達には、セルフコ
ントロール（感情や行動を制御
する能力）とソーシャルスキル



(大山会場)

3月5日と6日の両日、「子どもた
ちのこころの発達」をテーマとした
「親学セミナー」を、大山、中山の2
会場でおこないました。
セミナーには、2日間で130人の
保護者や保育関係者が参加し、講演を
熱心に聞きました。

（集団で生きる能力）が大切で
あること。そして、これらが未
熟な場合、こころの発達に歪み

中山会場

実体験が大切です

3月6日は、中山農村環境改
善センターで島根大学教育学部
の肥後功一教授が「小学校での
育ちを支える親・家庭の役割」
という演題で講演。肥後教授は、
昨年9月に作られた「大山町子
ども教育振興計画」の策定委員
で、町の教育審議会の会長でも
あります。

最近ではサラサラとしたファン
タジー（虚）なものが好まれ、
ドロドロとしたリアリティー
（現実）のあるものが敬遠され
る傾向があること。しかし、実
体験が不足すると、現実の世界

を生じやすく、いじめや不登校、
ひきこもりや犯罪などにつなが
る場合があること、これらの力
をつけるには、ほめること、自
信をもたせること、達成感を感じ
させることが大切と強調。
また、自閉症、学習障害な
どの発達障害についての話もあ
り、それぞれの障害に応じたほ
め方やしかり方など、適切な対
応について具体的な説明があり
ました。

を直視できない子どもになって
しまうことを指摘。

また、言葉がこころに届かな
い子どもが増えていますが、そ
の原因として、体や言葉で「抱
きしめたり抱きしめられたり」
することがなくなっているこ
とを指摘。そして、子どもの心
の安定を支えるためには、周囲
の人からちゃんと手をかけても
らった経験や大切にしてもらっ
た思い出が欠かせないと話しま
した。
子どものこころの発達のため
には、実体験をさせ、手をかけ
た子育てをする必要があります。



(中山会場)